

漬物の味〔扉の言葉〕

種田山頭火

青空文庫

私は長いあいだ漬物の味を知らなかった。ようやく近頃になつて漬物はうまいなあとしみじみ味うている。

清新そのものともいいたい白菜の塩漬もうれしいが、鼈甲のような大根の味噌漬もわるくない。辛子菜の香味、茄子の色彩、胡瓜の快活、糸菜の優美、——しかし私はどちらかといえば、粕漬の濃厚よりも浅漬の淡白を好いている。

よい女房は亭主の膳にうまい漬物を絶やさない。私は断言しよう、まずい漬物を食べさせる彼女は必らずよくない妻君だ！

山のもの海のもの、どんな御馳走があつても、最後の点睛はおいしい漬物の一皿でなければならぬ。

漬物の味が解らないかぎり、彼は全き日本人ではあり得ないと思う。そしてまた私は考える、——漬物と俳句との間には一味相通ずるところの或る物があることを。——

（「三八九」第貳集 昭和六年三月五日発行）

青空文庫情報

底本：「山頭火随筆集」講談社文芸文庫、講談社

2002（平成14）年7月10日第1刷発行

2007（平成19）年2月5日第9刷発行

初出：「『三八九』第貳集」

1931（昭和6）年3月5日発行

入力：門田裕志

校正：仙酔^{あびす}

2008年5月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.w.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

漬物の味〔扉の言葉〕

種田山頭火

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>